

## <金標準、金や銅など相互関税の適用除外で 14000 円割れに注意・・・>



(出所：オアシス)

トランプ大統領は、ホワイトハウスのローズガーデンで相互関税の内容を発表し、市場の思惑以上に関税率が高く、米国経済は景気後退リスクが高まりを示し、株価は連日大きく売られるなど逃避の動きが強まっている。特に金市場は、一律関税の動きにトランプ大統領の就任以降、金にも関税が適用される思惑が強まり、現物はロンドン市場から NY 市場へ移動する動きを強めていた。しかし鉄鋼とアルミニウムは別途の関税発動から適用除外となり、銅と貴金属も適用除外となるなど、ロンドン市場と NY 市場の金価格のプレミアムが一挙に低下し、株価の下落に伴う換金売りに押されて週末には 3032.7 ドルまで下値を模索し、相互関税の発表以降は 151 ドルの下落を示しており、金標準先物でもピークの 15253 円から週末には 14235 円まで下値を模索し、1018 円の下落を行っている。特に 3 月 12 日に鉄鋼とアルミニウムに対する関税発動を機に買われ続けた相場であり、関税の適用除外となった事から 3 月 12 日の 13673 円に向けた値動きに注意が必要に思える。

### <テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD が下げながら、シグナルも下げている。RCI では短期が下げている、長期も切り下げている。特に日足が 10 日移動平均線や 40 日移動平均線を下回るなど 14000 円へ向けた下値追いに注意が必要に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,115,000 円(2025 年 4 月 7 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 71,280 円(2025 年 4 月 7 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>